

1790  
2100  
2110

## 教育実践の研究

1 単位（面接授業 1 単位）

大坪圭輔教授、三澤一実教授、高橋陽一教授、伊東毅教授

### 授業の概要と目標

本授業科目は、教育実習の事前事後指導である。教育実習を行うにあたっての基礎的な知識と心構え、実習校との各種手続を含む事務的な連絡などをオリエンテーション形式で行う。

### 課題の概要

#### ○面接授業課題

第 1 回・第 2 回の面接授業を受けるに際して、月刊誌『武蔵美通信』別冊『スクーリング持参物』により告知して予めレポート課題を指定し、当日これを回収する。課題は、教育実習にあたっての準備や心構えなどに関することで、テーマは適宜指示する。

### 授業計画

#### [面接授業]

教職課程登録年次から 4 年次（教育実習受講年度）にかけて合計 3 回の授業すべてに順番に出席すること。

#### 第 1 回 教職課程登録年次

教育実習の理念と実際、教育実習までの日程概要、美術・情報に関する視聴覚教材の上映、第 1 回小論文提出

#### 第 2 回 3 年次（教育実習前年度）

教育実習の事前学習の指導、教育実習についての視聴覚教材の上映、模擬授業の実施、教育実習までの各種手続の説明、第 2 回小論文提出

#### 第 3 回 3 年次（教育実習前年度）：冬期スクーリング 又は

4 年次（当該年度後期教育実習予定者）：夏期スクーリング

教育実習の直前指導、美術・情報についての視聴覚教材の上映、模擬授業の実施、各種手続の説明

#### 事後指導（4 年次 通信の方法による）

教育実習終了報告書の提出

### 成績評価の方法

提出された小論文及び出席状況、教育実習終了報告書によって採点する。

### 履修条件及び履修年次

[履修年次] 下表参照

[履修条件] 教職課程に登録していること。

下表のとおり履修登録し、面接授業第 1 回～第 3 回に順番に 1 回ずつ出席すること。

[備 考] 面接授業第 2 回と第 3 回は、同一年度の春期・夏期スクーリングでは受講できない。よって、第 2 回を春期または夏期スクーリングで、第 3 回を冬期スクーリングで受講することができる。後期に実習を行う場合は、面接授業第 3 回を実習年度の夏期スクーリングで受講することができる。

教育実習後に本学指定様式の「教育実習終了報告書」を提出し、合格する事によって、単位修得となる。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

#### <各年次の履修登録と面接授業の受講回>

年 次	履修登録科目	受講する面接授業
教育課程登録年次	教育実践の研究(1)	面接授業 第 1 回（春期または夏期）
3 年次（教育実習前年度）	教育実践の研究(2)	面接授業 第 2 回（春期または夏期）
	教育実践の研究	面接授業 第 3 回（冬期）
4 年次（教育実習受講年度）	教育実践の研究	面接授業 第 3 回（夏期） （当該年度後期実習者のみ）

---

教材等

『教育実習日誌』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程）※第3回面接授業時に配付

---

その他

実習校の選定や各種の調整など、学生の責任において予め行うことが多い。このため、月刊誌『武蔵美通信』などに掲載する情報を十分に読んで準備をする必要がある。